

アフリカ 地域研究会

京都大学稲盛財団記念館3階 会議室

15:00 - 17:00

(感染症等の状況によってオンラインでの開催に変更する場合があります)



256 Kumiko Makino

2022年6月16日(木)

南アフリカの社会保障制度改革とケアの政治

牧野 久美子

日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター・アフリカ研究グループ長

インフォーマルな相互扶助が人びとの福祉やケアの提供に重要な役割を果たしてきたアフリカ諸国において、近年、フォーマルな社会保障制度の導入が相次いでいる。本講演は100年近い歴史をもつ南アフリカの社会手当制度に注目し、その歴史の変遷を辿ることを通じて、フォーマルな社会保障プログラムの導入や制度変更が、社会のなかの福祉やケアの配置とどのように関わらうのかについて考察する。

2022年10月20日(木)

257

不揃いな身体でアフリカを生きる：
路上と「障害」と物乞い

仲尾 友貴恵

国立民族学博物館・日本学術振興会特別研究員(PD)



Yuki Nakao



社会福祉制度が実動せず、労働市場における競争が激烈な、タンザニア連合共和国の最大都市ダルエスサラーム。ここには肢体不自由やアルビニズム等の身体条件をもち、かつ身寄りなく地方から出てきた人々も存在する。彼らはなぜ都市にやってきて、どのように生きているのか。「障害」概念と植民地主義との関係にも目配りしつつ、フィールドワークに基づく生活誌を軸に、アフリカ都市におけるシティズンシップを考える。



258 Haruse Murata

2022年11月24日(木)

和解と共生を語りかける絵本：
コートジボワールの内戦と児童文学出版

村田 はるせ

日本アフリカ学会・会員

コートジボワールでは2000年代以降、多数の児童文学作品とくに絵本が出版されてきた。なかでも目につくのは、和解や共生を語る作品である。1990年代以降この国は政情不安、国民の分断、暴力や内戦を体験した。作家たちはそうしたなか、赦すこと、ともに生き、穏やかな日常を慈しむ気持ちこそが戦争を防ぐと子どもに語りかけてきたのである。本発表では、それらの主題が絵本やジュニア小説でどう表現されているかを紹介する。